

東京 な か じ ま 会

ニュース

No. 45

発行 2026年9月1日
「東京なかじま会」ニュース係
〒362-0001 埼玉県上尾市上 1334-7
TEL 090-5552-9401
仁 木 タカ子

仲間が集い和気あいあい!!《第33回総会》開催

友人誘って、総会兼同窓会 『仲間と一緒に参加できて 良かったね』

一月二十五日(日)、東京なかじま会「第33回総会」が多くの観光客でにぎわった東京・渋谷街で開催されました。当日は心配された雪による交通機関の乱れもなく、予定通り開催されました。

総会は、山田会長の挨拶で始まり、村からご参加くださいました加藤村長はじめ、多くの方々に感謝するとともに、この日を楽しましに待つおられた本会会員の皆様方の再会を喜び合いました。

しかし、会員の高齢化により止む無く欠席せざるを得ない方々も増えて参りました。そのため、会の運営に不安感が生じていることも事実で、役員一丸となって会員の拡大に努力しております。それは何と云いましょう、本会は村出身者と村の架け橋として、その役割を皆で考え出して、実りある会にしたいと熱望してきたのですから。

次に加藤村長、小室村議会議長にご挨拶を頂きました。「役場整備事業の完成に伴いデジタル化の推進とグローバル社会に於ける人材育成に力を入れ、村の活性化に努めたい。更に村民のための安心・安全な村造りに努力したい」とのお言葉をいただき、深く心が動かされました。

第二部の懇親会では、ふるさと会会長の小針様から、祝辞に代えて、先に開催された、全国都道府県対抗女子駅伝大会に深谷凛桜さん(泉崎中二年、母方が滑津・岡ノ内)が三区で力走したことが報告され、胸が熱くなりました。次に、商工会会長の矢内様のご発声で樽酒の饗開き、乾杯となりました。

会食は再会を喜び合いながらの歓談とお互いの近況報告など、懐かしさ、嬉しさ、楽しさに満ち溢れていました。余興としては中島夢音頭や小中学校の校歌が流れ、口ずさみながら会食は盛り上がり、時間がつきませんでした。最後に記念写真の撮影をし、肉厚の村産・椎茸をお土産に次回での再会を約束し帰路につきました。

皆さん協力ありがとうございました。
次は第三十四回総会でお会いしましょう。

〔魅力ある村づくり〕



〔只今、提案中〕

会員のみなさんへ



会長
山田和江

毎日暑い日が続いております。皆さんいかがお過ごしでしょうか。皆様、おかげ様で、東京なかじま会も回を重ねること33回目の総会を無事に終えることができました。これもひとえに、中島村をはじめ、ふるさと会、会員の皆様のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。この会報で、出席された皆さんは当日の楽しかった交流を思い出していただき、同時に、出席できなかった皆さんも総会の雰囲気を感じていただければ幸いです。

さて、当会も設立して33年目を迎えたことは、前述した通りです。しかし、年々総会出席者も正直減ってきている状況にあります。そのため会の運営も決して明るいものとは言えませんが、役員一同本来の「ふるさと会」の役割を発揮できるように、知恵を出していきたく思っています。どうぞよろしく願っています。

村の田んぼは青々とした稲が順調に育っているでしょうか。7月の初めに千葉の実家に里帰りした、私の知人が開口一番に「6月の低温で稲が育っていないかった。米不足にならないといいが秋が心配だ」と話しておりました。これからの猛暑も稲にとっては少なからず影響があるのではないかと考えています。天候に左右される農業は、食料自給率や耕作放棄地などのことも考えると、国がもっと力を入れてくれないけない分野ではないのかと、一消費者として考えた、ふるさと中島村の農業を考えると悩める思いが湧いてきます。でも、生協の共同購入を利用していると、時折、夢みなみのきゅうり、平名塚のモロヘイヤなどが供給されていて「ふるさと」も頑張っているんだなあ」と元気をいただいています。

最後に、毎月の村の広報誌に掲載されている子どもたちの笑顔に、村の将来は明るいこと確信が持てます。東京なかじま会は来年1月に第34回総会を開催します。会員の皆さん、是非ともご出席をお願い致します。

東京なかじま会員のみな様へ



中島村長
加藤幸一

残暑の候、東京なかじま会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

一月に開催された第33回総会にご招待をいただき、今年も皆様とお会いできましたこと大変嬉しく思います。開催にあたりまして、ご尽力いただいた山田会長をはじめ役員の方々改めて厚く御礼申し上げます。

中東情勢の激化によりナフサの不足や石油製品の上昇など、物価高騰に拍車がかかり、農家ははじめ、生産者にとつて様々な資材不足や高騰により、非常に厳しい状況であります。消費者である皆さんにとりましても終わりの見えない物価高騰に悩まされているのではないのでしょうか。

このような中、本村では物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、第3弾となる生活応援券配布事業(住民一人あたり2万円)を実施するなど、村商工会協力のものと、村民や村内事業所の下支えを行っております。

さて、昨年の会報以降の主な村の事業であります。九月には中学校マレーシア修学旅行を実施し、イナナムセカンダリースクールの生徒との交流や海外の人々との交流など、子どもたちを一段と成長させてくれる体験ができました。さらに十月には、国の交付金を活用し、例年招致しているイナナムセカンダリースクールの先生と生徒に加え、マレーシアサバ州から、観光局の幹部やサバ大学の教授、旅行代理店職員等を招致し、海外に向けて村の魅力発信を行いました。

これまでのマレーシアとの交流事業が評価され、今年2月にサバ州・在コタキナバル領事事務所主催の天皇誕生日レセプションに招かれ、教育長・議長とともに訪問してまいりました。レセプションではマレーシア日本国大使から中島村の取組を紹介していただき、参加していたマレーシア政府関係者や

外交団の方々から本村ブースへ関心が寄せられました。なかじまさんグッズを配布するなど、本村や福島県をPRすることができ、今後の交流がより深まることを期待しております。

十一月には、輝ら輝ら秋まつりが開催され、天気にも恵まれ多くの来場者でにぎわいました。

今年一月十日には令和七年中島村二十歳を祝う会を開催し、三十八人に二十歳の証書を手渡し、お祝いをいたしました。

また、一月十一日には、中島村消防団出初式・安全祈願祭・村表彰式、新春賀詞交歓会を開催し、山田会長をはじめ各団体の方々や企業の方などに参加していただきました。

二月の文化講演会では、タレントで現在がん検診向上委員を務める山田邦子氏をお招きし、「大丈夫だよ、がんばろう」と題し大盛況の中開催することができました。

工事関係においては、これまでの役場庁舎整備事業に加え、村民駐車場の舗装工事を行い、役場周辺の整備が整いました。学校施設においては、両小学校の体育館トイレ改修を実施しました。

その他、村の基幹産業である農業の環境整備として、農道長寿命化やため池浚渫工事などを引き続き計画にそって進めており、昨年度からは、農業経営支援の一環として農業機械等導入事業補助を実施し、幅広い経営規模の農家の方々に活用いただいております。

また、中島村第6次総合振興計画に基づき、住民サービス向上のため新たにデジタル変革(DX)を進めております。中島村の公式ラインやホームページの中で、様々な周知文書を電子閲覧板として誰でもどこからでも見ることが出来ます。新たになかじまさんのラインスタンプを作成しました。様々なツールを通して、村のPRをしてまいります。

ふるさと納税については、会員の皆様のご協力と昨年は返礼品の米が注目され、前年度に比べると3.5倍以上となりました。

昨年村政七十周年を迎えましたが、八十年九十年と続くよう更なる村政発展と住民福祉の向上を目指し、魅力ある村づくりを進めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、これからの東京なかじま会の益々のご発展と、本会員の皆様方のご健康とご多幸を衷心よりご祈念申し上げますとともに、暑さ厳しき折柄、何卒ご自愛のほどお願い申し上げます。いさつとさせていただきます。



次回、第34回総会は1月24日(日)です。友人も誘って参加しましょう!

交 迎 の 広 場

なかじま会員の皆様、 『懐かしいふるさと中島村へ どうぞお出かけください』



中島村ふるさと会
副会長 矢内 宏

東京なかじま会の皆様には、日頃より故郷・中島村を温かく見守っていただき、ありがとうございます。私は高校卒業後、家業を継ぎ現在に至っております。

皆様の中には、中島村を離れて何十年にもなる方も多いと思います。しかし、ただ離れていても、また、離れていくからこそ、故郷への思いは強いのではないのでしょうか。1月に開催される東京なかじま会の総会で皆様にお会いして、お話を聞きますと強く感じます。私も生まれ育って、約70年中島村から離れたことがありませんが、つくづく「やっぱり生まれ育ったところはいいなあ」と思います。私は滑津地区ですので、滑津小学校と中島中学校でした。先輩の皆様からしても故郷がずいぶん変わったなと感じていると思いますが、ずっと住んでいる自分ですえそう感じます。ただ、滑津小学校校庭から石川新屋敷方面とか代畑橋から吉子川方面、また、常陸橋から滑津方面の田んぼの風景は変わっておりません。しいて言えば、田んぼの区画整理がなされた事ぐらいです。

私も古希を迎える年齢となりました。昔は(若い頃)そんなに想像しませんでした。したが、最近、昔の出来事を懐かしく思い出したりします(順調に歳をとってきたのでしょうか)。幼稚園・小学校・中学校・高校で共に勉強し、遊び、そして部活に汗を流した日々を思い浮かべます。東京なかじま会の会報を拝見し、また、総会の資料を見たりしますと、中島村を離れて活躍された皆様の近況を知ることができ、大変うれしく思っています。私事です、私の母は今年94歳になり

ました。ボケもせず元気です。頭はキレッキレで、「こつちが先にほけるわ」と嫁と2人で話しております。この会報や総会資料などを母に見せると、「この人はどっから出た人で、誰々さんの兄弟姉妹だ」とかいろいろと話してくれます(ちなみに滑津地区です。吉子川地区出身の皆様あしからず)。懐かしく話してくれるのと、ボケ防止に役立っています(笑)。さて、中島村も原風景は残っています。が、道路や建物は整備され住みやすくなりました。その一方で、ご多分にもれず、中島村も人口減少や少子高齢化など地域が抱える課題もあります。しかし、そのような中でも地域を支えようと、皆様の中島村を守ろうと、加藤村長をはじめみんなで努力しています。中島村は決して大きな村ではありません。と、いうよりも、福島県で面積が2番目に小さい村です。でも、人の温かさという点では負けない村だと思っています。東京なかじま会の存在は、故郷と首都圏を結ぶ大切な架け橋と考えます。離れて暮らしていても、皆様が中島村を気にかけてくださることは、地元に住む者にとっても大きな励みとなります。また、故郷を語り合える仲間がいることは、皆様にとっても心強い事ではないでしょうか。

中島村に帰られた際には、小学校や中学校など付近の散策や昔遊んだ山などを訪れてみてはどうでしょうか。変わった景色もあります。忘れていた記憶がよみがえるかもしれません。変わった風景と対比するのもおもしろいかなと考えます。この原稿を書いている今、6月初旬です。田植えも終わり、稲も順調に生育しています。風にそよぐ苗は見事です。結びに、東京なかじま会の益々の発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。そして、故郷・中島村を愛する気持ちをこれからも共に持ち続けていければと思います。それでは、来年1月皆様と元氣にお会いできることを楽しみにしております。

お元気ですか。楽しい毎日ですか。会員の皆さま 近況をお知らせください!!

近況報告 コーナー

神奈川県 小林 末子

一年間を振り返り、春には箱根(イワタバコの花)・熱海(ジャカラタの花)・日帰り旅行は近くの山に、秋には高尾山行き、残念ながら高尾山から富士山は見えませんでした。新潟県(清津峡溪谷トンネル)最高でした。足腰の元氣な時まで旅をして過ごす予定です。なかじま会もそれまで参加します。よろしくお願ひします。

東京都 小室 寛子

シニア向けのトレーニングに通ったりして、年相応に、のんびり過ごしています。

神奈川県 山田 和江

十二月になってからも箱根は紅葉がきれいです。総会で皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

神奈川県 野村 洋子

昨年4月から、子育て支援のパートを始めました。数年前の仕事を、子供を相手にするのは初めてでした。0歳〜3歳の子供のパワーに、しみじみ自分の体力の無さと老いを感じ、12月に退職させていただきました。でもとても良い時間を持てました。

東京都 大木 知子

元氣に過ごしていますが、以前の様に遠足の散歩はできなくなり、近所の公園等で体をきたえております。

千葉県 夏木 イミ

フルートの仲間で、デイサービスや老人ホームに出かけて演奏を楽しんでいます。なので、楽譜で脳トレしています。

神奈川県 瀬谷 佐宣志

多少の体調不良がありますが、中島会総会には出席させていただきます。

埼玉県 折笠 正男

先日は、電話をありがとうございました。封筒を確認したらハガキがありました。昨年は、風邪の為に欠席となりましたが、今回は喜んで総会に参加させていただきます。

東京部 岡部 和子



乗ってみましたよ!

中島村では、村民の足となる【中島ふれあいタクシー・童里夢号】が走っています。中島村出身であれば村外在住者でも利用可能と聞き、早速乗ってみました。JR 東北本線、泉崎駅、または矢吹駅から村内が目的地なら何処までも乗ることが出来ます。運賃は1回の乗車につき、一人1,500円です。私は新幹線・新白河駅で東北本線「郡山行」に乗り換え、泉崎駅で下車、電話予約していた童里夢号に乗りました。新白河駅からタクシーに乗るより、かなり格安な料金で行くことができました。【中島ふれあいタクシー・童里夢号】の利用でとても帰郷し易くなりました。利用される場合は、必ず事前に電話予約をお願いします。



予約電話番号 0248-51-1555 (中島交通システム協同組合) 予約時には、①氏名 ②電話番号 ③乗車時間 ④乗車場所 ⑤降車場所 (例 元村...など) が必要です。 (運行は平日のみになります) 私事です、高齢になり、運転免許証を返納し、車の運転をやめた今、里帰りやお墓参り等々が行きやすくなりました。会員の皆様、気軽にご利用されてはいかがでしょうか。懐かしい中島村に出かけてみましょう。興味・関心のある方は、仁木(090-5552-9401)までご連絡ください。詳しい最新情報をお知らせできと思います。(泉崎駅から元村まで3月に乗った民間タクシー代は3,500円でした。矢吹駅や新白河駅からはもう少しかかると思います。童里夢号は格安です。)

編集後記

東京なかじま会第33回総会は、私達のふるさと中島村を早朝より出発してご参加いただいた御来賓、ならびに村民の方々、そして年に一回の会合を楽しみにされていた会員の皆様方のご協力をいただき無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

総会会場の入り口付近には、例年通り、結いの会様がご準備くださった中島村産の野菜、お餅、漬物、鶏卵等々が並べられ、会員の皆様は懐かしそうに、嬉しそうに、品物を選び買われていたようです。私も春菊やお餅、干し柿、小松菜等々を買いました。買った野菜等は家に帰り、中島村を紹介しながら、ご近所さんにお裾分けし大変喜ばれました。今回、やむを得ず欠席となられた方々、次回の総会は、是非ともご参加いただきふるさと中島村の思い出を談笑ください。

【お詫言】

本ニュースの発行が大幅に遅れ、申し訳ありませんでした。次号は頑張ります。

ニュース担当
仁木タカ子

役員一同からのお願い

会員の方の高齢化が進み、やむなく退会を希望される方が増えております。このままでは、会の存続にも影響してまいります。会員の皆様、親戚の方やご友人に入会されるようお願いいたします。ただませんか、勧誘を宜しく願ひします。

